

議第13号議案

保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和4年12月14日提出

提出者	新座市議会議員	黒田 実樹
賛成者	//	笠原 進
	//	高邑 朋矢
	//	石島 陽子
	//	小野由美子
	//	小野 大輔
	//	嶋田 好枝

提 案 理 由

保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求めるため、この案を提出する。

保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書

園児を取り巻く事故が連日報道されています。保育士は過重な労働環境に置かれており、賃金も低いことから、保育士の確保と定着が喫緊の課題となっています。ゆとりもない中、子どもたちの安全は保育現場の必死の努力に任されています。保育施設内で起きた重篤な事故は2021年に1872件発生しました。保育新制度導入時（2015年）の4倍以上の増加です。死亡事故も毎年起きています。園庭のない保育園が増え、散歩中の園児の置き去りが頻発するなど、子どもの安全を脅かす事態も広がっています。4～5歳児の保育士配置基準は、70年以上一度も改善されておらず、日本は主要国でも極めて低い基準のままです。

職員の数を増やすことは、子どもの命と育ちを守ることに直結します。質を確保した保育の受け皿を整備するためには、保育士の配置基準の見直しや賃金水準の引上げによる処遇の改善が急務です。国が責任をもって安心・安全の保育を実現する政治に切り替えていくことが重要です。

よって政府におかれては、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

- 1 保育士の配置基準の見直しを行うこと。
- 2 賃金水準の引上げなど更なる処遇改善を図ること。
- 3 保育士の処遇改善に必要な財源を十分に確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年 月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

厚生労働大臣 様